

令和 4年度 事業報告書

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症とロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け続けた1年となった。

新型コロナウイルス感染症は、世界的パンデミックから3年が経過し、その間マスク装着・ワクチン接種・手指消毒・除菌等々の各種対策が講じられていたが、ロシアによるウクライナ侵攻で日本にどのような影響があるのかは想定することができなかった。

結果的には、世界的な原料価格の高騰や円安による輸入価格の高騰によりガス代や電気代は急激に上昇し、関連して食料品を始めとした各種生活必需品も徐々に値上がりし、人々の生活は大きな影響を受け続けている。

岡崎市シルバー人材センターにおいて最も影響を受けたのが、市からの指定管理業務を行っている「岡崎市花園高齢者生きがいセンター」であった。作業場の主力業務である特殊ビニール加工の仕事は、ロシアへの輸出用製品比率が高く、受注業務量は激減となり大幅な実績減となってしまった。今後もロシアとの取引再開は望めないとのことで、取引先企業と調整し新たな製品への取組を進めることとなった。

反面、労働者派遣事業は堅調に推移し続けており、昨年度の過去最高実績を大幅に更新することができた。

全体的に1年間を通して大変厳しい状況ではあったが、請負事業と労働者派遣事業の合計契約実績は、過去最高実績であった昨年度を僅かに上回り5億5千3百万円に達することができた。

会員数においては、例年どおり年度末退会者が多いながらも、なんとか1,000名を維持することはできた。

平均年齢はほぼ75歳となっており、80歳以上の会員も200名以上在籍している。

80歳という年齢を節目に年度末に退会される方も例年見受けられますが、会員の皆様方には、年齢に関係なく元気なうちは会員を継続していただけますよう働きかけてまいります。

平成30年度事業計画から問題提起してまいりました「インボイス制度」が、いよいよ今年の10月から始まります。

全国各市町のシルバー人材センター存続を脅かしかねない問題でありながら、決定的な方策や打開策が打てないまま施行される状況にあります。

岡崎市シルバー人材センターでは、事務費率の引上げやインボイス対応準備資金積立等の対策を進めていますが、不安要素が多々あります。

現状は全く先の見えない状況にはありますが、引き続き会員の皆様方を始め関係機関・団体の皆様方のより一層のご支援並びにご協力を切にお願い申し上げます。

【事業実施計画に基づく取組について】

(1) インボイス制度に向けた対策の推進

シルバー人材センターの存続が危ぶまれるインボイス制度の施行にあたり、何らかの打開策が全国シルバー人材センター事業協会より打ち出されるのではないかと期待していたが、残念ながら今のところ指示は出ていない。

指針が出てこない場合を想定し、当面の間は事務費率の改定とインボイス対応準備資金積立にて対処していくこととした。

新たな方針が示された場合は、全国のシルバー人材センターと足並みを揃えて対応する。

(2) 会員の増強に向けた取組強化

事業計画に基づき各種施策を実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、積極的な活動やイベントの開催・参加は控えなければならない期間もあった。

(3) 安全就業と感染症予防の取組強化

昨年8月には市内の感染者数が1日で1,000人を超える日もあったが、会員の感染は年間を通じて数名にとどまり軽症であった。

衛生委員による会員派遣先へのパトロールや研修安全委員による会員就業先パトロールを実施し安全就業を呼び掛けた。

令和4年度の事故発生状況は、次のとおりである。

(賠償事故：2件)

	発生日	発生場所	年齢(性別)	事故内容等
1	04.04.18	板田町	73歳(男)	焼却施設のダンピングボックスを器や瓦の残骸に気づかず降ろしてしまい、ダンピングボックスのエプロン部の鉄板を曲げてしまった。
2	04.06.09	竜美西	チーム	刈払い機にて隣家のコンクリート塀に擦り傷をつけてしまった。

(傷害事故：4件)

	発生日	発生場所	年齢(性別)	事故内容等
1	04.11.08	羽栗町	82歳(男)	刈草を軽トラに積み、荷台で踏み込んでいたところ、荷台から転落*骨盤骨折他
2	04.12.08	明大寺町	71歳(男)	原付で仕事場に向かう途中で、乗用車に接触され転倒*左膝、左腰打撲
3	05.01.27	中伊町	80歳(男)	トリマーで刈込中、刃を指に当てて裂傷を負った。*2針縫合
4	05.01.27	中伊町	66歳(男)	トリマーで刈込中、刃を指に当てて裂傷を負った。*4針縫合

(4) 事務局体制の再編

正規職員の定年退職に伴い、新規正規職員1名の採用手続きを進めた。

また、額田・花園各支所の臨時職員の退職に伴い、新規に臨時職員を採用し対応した。

(5) 「第3次 経営改革5か年計画」の推進

令和4年度から令和8年度までの5か年計画を策定し、全会員に配布いたしました。

令和4年度の目標には事業実績・会員数ともに到達できませんでしたが、事業実績においては過去最高額を更新することができた。

引き続き、令和4年度目標値のクリアと令和5年度目標達成に向けて取り組む。

(6) その他

岡崎市花園高齢者生きがいセンター指定管理業務については、引き続き市と協議を進めていく。

事務費率は、インボイス制度の施行に関わらず、令和5年度から企業・公共を10%から12%に、一般家庭を8%から10%に改定することとし、一般家庭のコンビニ支払い手数料は、全額シルバー人材センターが負担することとした。

シルバー支援隊事業及び和事業は、就業する会員の補強を早急に考えなければならない状況にある。

一斉ボランティア活動は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、役職員のみで実施した。

災害発生時に対応する事業継続計画（BCP）を策定し、運用を開始した。